

### 各支店長・営農指導員殿

秋ジャガイモ植え付けの最盛期となっています。このことについて問い合わせが何件ありましたので要点を整理しました。ご参考にしてください。

#### 秋ジャガイモについて

秋作ジャガイモは概ね栽培期間が約100日間となるので8月終わりから9月始めにかけて定植すれば11月終わりから12月始めに収穫となります。従って、降雪が早い年は十分な収量を得ることは出来ませんが、近年の暖冬で、これまでは嶺南地域でしか取り組まれなかった秋作ジャガイモが当地域でも充分栽培可能となってきました。

秋ジャガイモの育て方のポイントは、

地温の高い時期の定植となるため、切断したイモは腐り易くなるので小イモを使うこと。小イモでない時は、切断面の処理をきちんと行うこと。

植える時期は8月末から10日間くらいの間に植えること。

春のバレイショと連作、近接作付けは行なわないこと。春作にそうか病など病害が発生した圃場には栽培しないことである。

#### 秋ジャガイモ栽培

秋ジャガイモに使える品種

- ・アンデス赤(アンデスレッド)：皮が赤く、肉色が鮮黄色で食味も良い。
- ・出島(デジマ)：秋栽培でよく使われる品種。イモは黄白で、やや粉質。
- ・西豊：根茎腐敗病等に抵抗性がある。イモは、淡い黄色で、やや粘質。

なお、春収穫したジャガイモで、芽が出ているイモも使用可能ですが収量は上記のイモに比べると劣ります。

#### 秋ジャガイモの植え付け時期

作型

降霜の時期によって作型が決まります。したがって、山間部では早めに植え付ける必要があるが、高温期はイモが肥大しないので8月25日以降月末までとする必要がある。

圃場準備

秋雨、台風シーズンを迎えるので、排水の良くないところは不向きである。圃場に滞水が発生しないよう畝は充分にたてる。

施肥

熟畑で春作後であれば、石灰はごく少して良い。肥料は春よりはやや少な目とします。「化成550」で1a当たり20kg程度、「A801」で10kg程度とし、元肥のみでまかないます。

植え付け

秋ジャガイモの植え付けでは腐りやすいので、小芋を丸のまま植える。小芋が入手できなかった場合は、定植4~5日ほど前に切断して、屋内の日の当たらないところで養生して置きます。切断面に灰や石灰をまぶしてはいけません。

管理

秋ジャガイモでは、地温が高いので、稲ワラや麦ワラなどを敷き地温が上がるのを防ぎます。植え付け後、2~3週で芽が出てきますので、植え付けから2週間目位でワラは取



そうか病

り除きます。

9月は気温が高いので、ジマンダイセン水和剤やダコニール 1000などを栽培期間中に3~4回定期的に散布して置きましょう。

また、雑草の発生が早いので、雑草が3~4葉期になったら、除草をかねて土寄せを行います。2~3回は行なう必要があります。

収穫

収穫は2回ほど霜が降りて地上部が枯れてからとなります。積雪となる前に掘り取っておきましょう。